

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

232号 2023年4月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

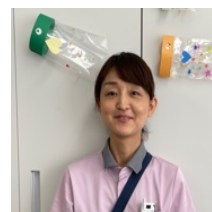
ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

オレンジクラブきょうだいお預かり これまでの歩み と これから

きょうだいお預かり保育士 吉野紀子

きょうだいお預かりが旧医師公舎をお借りして再開してから一か月が過ぎました。コロナ禍で私たちの活動は大きく変わりました。二年以上に渡る休止の末、緩和ケア普及室の医師、看護師の皆様、図書室の皆様、数えきれない多くの方々のご支援のもと、ようやく再開できた今、これまでを少し振り返り、今後に向けての思いをお伝えさせて頂きたいと思います。



まだきょうだいお預かりのボランティアがない頃、外来で、あるお母様から「この病院にはきょうだいを預かってくれる場所はないのですか？お金を払ってでもいいので預かって欲しい。」というお声がありました。その方から始まり、2～3人のお母様から同じような質問がありました。保育園の一時預かりも充実していない頃、ご家族の方々はどんなにお困りだったことでしょう。

2006～「この活動は絶対に必要」と、ボランティアさんだけで入院されている患児さんのごきょうだいをお預かりする週1回の「きょうだいお預かり」が始まりました。専用のお部屋はないので、5階家族待合室をお借りしての活動です。もちろん待合室を利用されるご家族もいらっしゃる、予約制ではないので当日何人のきょうだいさんがいらっしゃるかわからない中、お預かりをして下さっていたボランティアさんたちのお力。保護者の

方々はどれほど心強く安心できたことでしょうか。いのちをお預かりするという責任と緊張のある中、楽しい遊びの時間を下さったきょうだいさんたちへの愛に溢れたボランティア活動、尊敬の念に堪えません。ボランティアさんたちから、安心してお子さんをお預かりするためにも保育士の配置を、とお声が挙がったそうです。

2017～ 当時のボランティアリーダーであった小林さんが保育士として勤務、週 2 回のお預かりとなります。予約制ではないので、何人のお預かりがあるかわかりません。夏休みなどは一度に 10 人を超えることもあり、屋上や院内のお散歩など、ボランティアさんたちと手分けしてきょうだいさんたちが安心して安全に楽しく過ごせるよう工夫されていたそうです。

2018～ 保育士が二人になり、週 3 回のお預かりになりました。2020 年 4 月からは週 4 回のお預かりになる予定でした・・・

新型コロナ感染対策のため 2020 年 2 月よりきょうだいお預かりは中止となりました。きょうだいさんは、いまだ入館することは許されておられません。

2021 年 2 月からはお家にいるきょうだいさんのために手作りの工作『遊びキット』の制作を始めました。きょうだいお預かり保育士として何ができるか「オンラインできょうだいさんのためのイベント」や「親御さん経由の交換日記」など考えたりもしましたが《きょうだいさんの本当に望むことは、お父さんお母さんともっと一緒にいたい、遊びたい》なのではないかなと思いました。「本当は病院に行かないでそばにいてほしい、でも言えない。我慢しなくちゃ。がんばら



なくちゃ。」きょうだいさんと親御さんが一緒に作って遊べる、会話が広がる、笑顔が生まれるそんなことを願って作り始めた『遊びキット』です。今では、病棟、施設合計 8 か所の家族待合室や入口に置かせて頂いています。2022 年は年間 21 種類、各種約 80～200 セット、延べ 1780 セットをきょうだいさんたちにお届けしました。

また、きょうだいさんへのおみやげコーナーとして 5 階家族待合室を【よりみちステーション】と名付け、毎週火曜日、手作りのおもちゃや雑貨、ご寄付頂いた文房具や雑貨等をお持ち帰り頂いています。親御さんからは「遊びキット一緒に作って遊びました」「一緒に遊んだ動画を入院しているお兄ちゃんに見せました」「いつもごめんねという気持ちだったけど、家で一緒に遊べて楽しかった」などのお声を頂きました。《きょうだいが入院している病院からのおみやげ》によって、きょうだいさんやご家族のお気持ちが少しでもやわらかくなる時間になれたらいいなと思って製作しています。そしてこれらの活動もまた、ボランティアさんたちのお力で成り立って

います。パーツを作って郵送して下さったり、遊びキットや折り紙の作業に来て下さったり、きょうだいさんたちに心から寄り添って下さり心から感謝の気持ちでいっぱいです。

2022年5月からは、医師や看護科長の紹介制、完全予約制で、患者図書室をお借りして再開することができました。お預かり希望があるのにお部屋がない、というどうしようもない問題に図書室の方々が快く患者図書室を貸して下さい本当に有り難かったです。病院内にごきょうだいが入れない中でのお預かりでしたので、公に広報はできず、限られたご利用でした。

そして、2023年3月、旧医師公舎をお借りして、ようやく親御さんから直接お預かりのご依頼を受けることが可能になりました。

ボランティアさんたちが立ち上げ、繋いできて下さった『オレンジクラブきょうだいお預かり』と、病院の『きょうだいお預かり』が、改めて一緒に走り出しました。ここまでこられたのはボランティアさんたちのお力のほかありません。20年近く前から必要性を訴え、ご尽力下さった全てのボランティアの方々に感謝の気持ちがやみません。本来ならば病院がすべきことをボランティアさんたちが先導して作り上げ発展させてきて下さったのですから。

助け合って進んでいく、ボランティアさんたちから教えて頂いたことです。『つないでいくこと』にもしっかりと軸足を置いていきたいと思います。

いまだ、入院患児さんのごきょうだいのみ、一度にお預かりできるのは一家族という制限がある中ではありますが、病院と連携してボランティアさんたちが安心して活動して頂けるように、きょうだいさんたちが安心して安全にのびのび遊べる環境を作っていきたいと思っております。これからもさらに良いご報告ができますよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

ぽぽんた通信（59）

きくちゃん

コロナ禍も少しずつ下火になったせいか、ぽぽんたの本の貸し出しメンバーは回を追う毎に増えてくるように見える。とても嬉しいことだ。本の貸し出しは、各病棟からリクエストが寄せられるようになり、紙芝居を複数とか折り紙や工作の本等、選書して届けられるのが嬉しい。新入メンバーは3人も増えて、ぽぽんたの平均年齢をぐーんと下げてくれた。だが、中心的メンバーが家庭の事情でぽぽんたから去る事となりとても悲しい。オンラインのおはなし会は好評で引き続き行われるし、各病棟のプレイルームで対面のおはなし会も再開できそうでこれもまた嬉しい。一家族（2，3人）とぽぽんた1人のおはなし会だ。10分～15分以内なので、盛りだくさんにならないようにプログラムには良く気を付けよう。

まだ何も始まっていないのに、取り越し苦労かな。でも、おはなし会の機会が増えると子ども達には楽しい時間が増える事になる。

《これから6ヵ月間の会議と季節飾りの予定》

- 5月8日（月） ボランティア調整会議
- 5月27日（土） 七夕飾り
- 6月6日（火） ボランティア運営会議
- 6月26日（火） ボランティア研修会
- 7月15日（土） 夏飾り
- 10月17日（火） 調整会議 第1会議室



（肢体施設つばさの木の庭で久々の対面イベントの様子）

「鯉のぼり・・・病棟の子ども達も見られたらいいなあ～」

園芸班 佐伯隆夫

オレンジクラブ園芸班の佐伯隆夫です。今年もお雛様の飾りを 3 月末に終わらせ、4 月より 5 月人形の飾りになりました。そこで特に鯉のぼりの変遷についての体験談を紹介したいと思います。

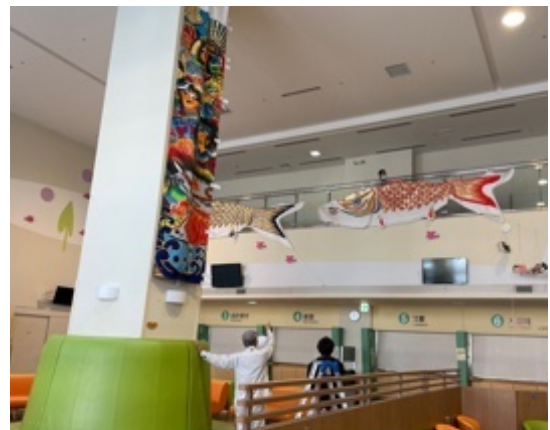
園芸班は、その昔、旧病院が解体され、現在の新棟に屋上庭園ができた頃よりスタートしました。季節の飾り付けは、園芸班もお手伝いをさせて頂いています。

旧棟の頃、寄付の鯉のぼり 3 匹があり、病院入口前の 3 本の旗ポールに取り付けていました。2～3 日したら 3 本のポールが接近しているため鯉のぼりがお互いに絡みつきヘビの滝登り状態になってしまい大失敗でした。

翌年には前より一回り大きい新品の鯉のぼりの寄付があり、風によくなびくようにと図書室の屋上から地上が良いかと考えました。屋上には非常用の固定金具がついており、それを利用して下の駐車場までロープを長く延ばし固定することができました（長さは 15m ほど）。地上の金網にロープを固定し、吹き流し、真鯉、緋鯉、子鯉が取り付けられ、それは見事でした。10 日間ほど過ぎた頃、早朝、守衛さんより鯉のぼりが泳いで飛んで行ってしまいました、と連絡がありました。昨夜の強風でロープが切れてしまい、風に負けてしまいました。我々が想像する以上の力が加わった事でこれも失敗でした。それからは外への取り付けは止めざるを得ませんでした。できれば、病棟からも青空に泳ぐ鯉のぼりを子ども達に見せたい気持ちは今も変わりません。



（本館 3 階 手術室へ向かう通路前にて）



（本館総合待合室での作業中）

今年は 1 階の待合ホールに手作りの鯉のぼり人形を 6 本つるし、2 階通路部に 3 匹の鯉のぼりを手すりに取り付け、3 階の通路には色鮮やかな山本寛斎デザインの鯉のぼりが飾られています。鯉のぼりは室内ではなく外で風に泳がせている姿が最も元気が出る事と思います。いつか又、外に取り付ける事ができると嬉しいです。

令和五年度のスタートにあたり

4 月 1 日町田総長から黒田達夫総長に代わりました。総務課のボランティア担当も交代で吉田になりました。ボランティアの皆様、センターを利用されるお子様やご家族ごきょうだいの方々のために、ご支援いただきありがとうございます。今年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

ボランティアコーディネーター加藤